

**日本機械学会バイオエンジニアリング部門
第 102 期 第 1 回 運営委員会 議事録案**

日時： 2024 年 5 月 10 日（金）15:00～17:00

場所： 名古屋工業大学 3 号館 2F 会議室（221），ハイブリッド開催

出席者： 石川 拓司（部門長, 国際ジャーナル委員長），中村 匡徳（副部門長, BE36 講演会委員長），藏田 耕作（部門幹事），菅原 路子*（総務幹事），坂元 尚哉（企画委員長），村越 道生（企画幹事），佐藤 克也（広報委員長, 年次大会 2024 担当），荒平 高章*（広報幹事），須藤 亮*（渉外委員長, 国際ジャーナル幹事, BE37 講演会委員長），牧 功一郎（次世代委員長, 渉外幹事），山下 忠紘（次世代幹事, BE37 講演会幹事），倉元 昭季*（前・次世代幹事），大橋 俊朗*（年次大会 2025 担当），百武 徹（BF35 講演会委員長），藤崎 和弘*（BF36 講演会委員長），矢野 哲也*，築谷 朋典*，比嘉 昌，田地川 勉*，岩崎 清隆*，吉野 大輔（学会出版委員），正本 和人（技術ロードマップ委員），亀尾 佳貴，葭仲 潔（ISO・JIS・学会基準委員），曾根原*（機械学会）

欠席： 東藤 正浩（総務委員長），杉田 修啓（BE35 講演会幹事），世良 俊博（分野連携委員長），寺島 正二郎，馬場 創太郎，坂井 伸朗，松田 勇，松田 昭博（SHD 部門），

アドバイザーボード出席者： 大島 まり*，中西 義孝*

（*：オンライン出席）

[資料]

- 102-1-00 第 102 期第 1 回運営委員会 議案
- 102-1-01 第 101 期／第 102 期合同拡大幹事会 議事録
- 102-1-02 第 102 期部門運営委員会等の構成
- 102-1-03 次世代戦略委員会 出藍セミナーシリーズ企画書
- 102-1-04 次世代戦略委員会 出藍セミナーシリーズ集会行事開催届・収支予算書
- 102-1-05 2023 年度部門収支決算書
- 102-1-06 ISO・JIS・学会基準委員会 学会基準テーマの募集
- 102-1-07 2023 年度第 3 回 ISO・JIS・学会基準委員会議事録
- 102-1-08 2024 年度 JIS 原案作成公募 区分 C 募集
- 102-1-09 令和 7 年度文部科学大臣表彰「若手科学者賞」候補推薦のお願い
- 102-1-10 機械工学年鑑 2024 執筆者リスト
- 102-1-11 2025 年度設置「RC 分科会」研究テーマ募集について

[審議・承認事項]

1. 部門運営・構成関係

(1) 第 101 期／第 102 期合同拡大幹事会 議事録 [藏田 部門幹事] [資料 102-1-01]

メール審議で議事録が承認され，部門 HP で公開済みであることが説明された。

(2) 第 102 期部門運営委員会等の構成 [藏田 部門幹事] [資料 102-1-02]

- 部門組織
- 運営委員会・所属委員会名簿
- 総務委員会名簿
- 広報委員会名簿
- 渉外委員会名簿
- 企画委員会名簿
- JBSE 編集委員会名簿

若手による次世代戦略委員会
バイオエンジニアリング講演会実行委員会名簿
バイオフィロンティア講演会実行委員会名簿

各種名簿について確認をお願いし、承認された。なお、シニアアドバイザーの所属については「第〇期部門長」という記載にすること、また、他の欄に記載している所属については申し出を元に更新することが説明された。

(3) 2025 年度地区別代議員数の決定について [石川 部門長]

5月下旬にJSMEから依頼があり、7月12日（金）締切であることが説明された。部門から選出できる人数については依頼時に分かる。案を出してメール審議するという進め方で決定することが承認された。

(4) 2025 年度代表会員候補適任者の推薦について [藏田 部門幹事]

今年度は6月上旬に推薦依頼が配信される予定。案を出してメール審議するという進め方で決定することが承認された。

なお、2023年度は6月にJSMEから推薦依頼が届き、8月15日（火）締切であり、部門から3名が推薦された。

(5) 計算力学技術者資格認定事業 [藏田 部門幹事]

2023年度は6月2日にJSME計算力学技術者資格認定事業委員会から協力依頼があり、6月30日（金）回答締切だったことが説明された。部門関係者に本事業の周知・宣伝をお願いしたいという協力の要請であり、承諾するとホームページに部門名が掲載される。

今年度も同様と思われるので、協力依頼が来れば承諾の返事をするのが了承された。

(6) 2024 年度フェロー候補者の推薦について [藏田 部門幹事]

今年度は6月上旬に推薦依頼が配信され、9月13日（金）17時が締切であることが決まっているので、8月31日（土）までに部門幹事まで候補者を連絡していただきたいと依頼があった。候補者の案を出してメール審議するという進め方で決定することが承認された。

なお、2023年度は6月にJSMEから推薦依頼が届き、9月15日（金）提出締切であったこと、部門推薦枠で1名、一般推薦で1名の合計2名を推薦し、山本衛先生、東藤正浩先生がフェローとして認定されたことが説明された。

(7) bio-mc メーリングリストアーカイブの部門 HP 掲載終了について [佐藤 広報委員長]

これまでbio-mcメーリングリストに投稿された内容はアーカイブとして部門HPに掲載していた。しかしながら、機械学会インフォメーションメールの普及に伴い、bio-mcメーリングリストの投稿頻度が相対的に下がっていること。加えて広報委員ML担当者の負担軽減に資するとの観点から部門HPへのアーカイブ掲載を終了することが提案され、承認された。なお、bio-mcメーリングリストは今後もこれまで通り運用していく。

(8) 年次大会部門同好会の参加費決裁システムの利用料負担について [佐藤 年次大会部門代表]

年次大会の部門同好会の参加費登録決済は、年次大会の参加登録システムを利用できることになっている。部門からシステム利用料（決済額の6%）を支出することが承認された。決済額の総額は20万円程度なので、部門の負担額は12,000円ほどと思われる。

なお、スポーツヒューマンダイナミクス部門との共同開催であるため、今後、先方に提案して同意を得る必要があることが説明された。

(9) 日本循環器学会との合同セッションについて [中村 副部門長, 須藤 渉外委員長]

今年度は以下の学会にてセッションを開催する予定であることが説明された。

- ・2024年度 機械学会年次大会 (2024年9月8日(日))
- ・日本循環器学会総会 (2025年3月中旬)

(10) その他

なし

2. 部門関連行事

(1) 第36回バイオエンジニアリング講演会 [中村 BE36 講演会組織委員長・坂元 企画委員長]

開催日：2024年5月11日(土)-12日(日)

会場：名古屋工業大学

実行委員長：中村 匡徳 (名古屋工業大学)

幹事：杉田 修啓, 氏原 嘉洋

講演会ウェブサイト：<https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf24/>

5月11日(土) 19:00-20:30 情報交換会 (名古屋ビール園 浩養園)

総会 (部門報告・表彰式)

日時：5月11日(土) 12:30-13:15

会場：A室

次第： 部門報告 (石川 部門長)

今後の講演会のアナウンス (BF35 百武先生)

部門表彰式 (総務委員会：東藤先生, 菅原先生)

JBSE 表彰式 (石川 JBSE 編集委員長, 佐藤 JBSE 広報担当委員)

準備状況について説明があった。

(2) 2024年度年次大会 [佐藤 広報委員長・年次大会2024担当]

開催日：2024年9月8日(日)-11日(水) (8日(日)は市民開放行事)

場所：愛媛大学城北キャンパス

講演原稿提出締切：2024年7月22日(月)

OSプログラムの状況

日循WSは企画者からの要望で9月8日(日) 15:00~17:00に配置されている。

日付	2024/9/8 (日)	2024/9/9 (月)	2024/9/10 (火)	2024/9/11 (水)
単独OS		分子・細胞メカニクスとその組織形成・再生医療応用	メカノ×バイオ×情報研究の新展開	
合同OS		バイオマテリアルおよび細胞/組織のプロセス・力学・強度		流体工学とバイオエンジニアリング
合同OS		マイクロ・ナノとバイオエンジニアリング		衝撃波・超音波の医療・産業応用とその現象解明
合同OS		機械工学に基づく細胞アッセイ技術		傷害メカニズムと予防
特別行事企画		小さな機械の最前線1 小さな機械の最前線2	バイオと材料力学の融合が創出する先端技術	
日循WS	循環器疾患の治療デバイス・治療法の進展と工学への期待			
			全体懇親会	

・部門運営委員会の開催日について

部門運営委員会の開催日を決定していただきたい。会場となる会議室の予約は既にフォームにより受付中(締切は6月21日(金))。

→ 9月8日(日) 12:30~14:30にお弁当付きで開催されることになった。

・部門同好会の開催日について

全体の懇親会は9月10日（火）に開催。部門同好会の開催候補日を決めて、スポーツヒューマンダイナミクス部門の代表委員の先生に打診したい。

会場・予算については、スポーツヒューマンダイナミクス部門の先生に一任したい。

→ 9月9日（月）に開催されることになった。

・JSME-ISEA ジョイントシンポジウム（SHD 部門と共同）

BE 部門から英語講演 30 分の講師を選出する必要がある。中楯先生にお引き受けいただいた。当シンポジウムは9月10日（火）に開催される。

(3) 第 15-18 回出藍セミナーシリーズ [牧 次世代委員長] [資料 102-1-03, 04]

2024 年 7 月から出藍セミナーをオンラインで 4 回開催する予定であることが説明され、承認された。部門内外の専門家を招き、研究開発の動向について紹介していただく内容で、若手研究者の人的交流の機会を提供する。部門から金銭的サポートもなされているので、ぜひ活発な交流を図っていただきたいと意見が出された。

(4) 第 35 回バイオフロンティア講演会 [百武 BF35 講演会委員長]

日程：2024 年 12 月 14 日（土）、15 日（日）

開催地：横浜国立大学

実行委員長：百武 徹（横浜国大）

幹事：白石 俊彦（横浜国大）

演題登録受付開始 2024 年 7 月 19 日（金）

演題登録締切 2024 年 9 月 13 日（金）

講演原稿提出締切 2024 年 11 月 1 日（金）

参加登録受付開始 2024 年 10 月 4 日（金）

参加登録締切 2024 年 11 月 28 日（木）

準備状況について説明がなされ、日程等が承認された。なお、牧 次世代委員長より、1 on 1 のネットワーキングを重視した企画（マイアミ大学の海洋物理生物学研究室の Prof. Vivek N. Prakash を招へい）を予定している旨、説明がなされた。

(5) 第 37 回バイオエンジニアリング講演会 [須藤 BE37 講演会委員長]

開催日：2025 年 5 月 24 日（土）、25 日（日）

開催地：慶應義塾大学 日吉キャンパス

実行委員長：須藤 亮（慶應大）

幹事：山下 忠紘（慶應大）

来週、慶應大学の現地を視察して、再来週に会場予約する予定であることが説明された。

(6) 2025 年度年次大会 [大橋 年次大会 2024 担当]

開催日：2025 年 9 月 8 日（月）-11 日（木）

開催地：北海道大学 札幌キャンパス

内部で役割分担が決まったところで、8 月 1 日に第 1 回実行委員会が開催されることが説明された。

(7) 10th World Congress of Biomechanics [石川 部門長, 大橋 委員]

第 10 回バイオメカニクス世界会議

開催日：2026 年 7 月 6~10 日

開催地：Vancouver (Canada)

URL：<https://www.wc-biomechanics.org/congresses>

先日、Zoom ミーティングが行われ、前回の台北と同様に、Yamaguchi medal のセッション、APAB のセッション、女性研究者のセッションを開催したいという話し合いがなされた。近日中（5～6月）にプログラムの詳細（叩き台）が検討される予定。

2026 FIFA World Cup と日程が重なってしまうという問題については、World Cup の2日後に開始できるようにずらしたという説明があった。

JSME セッションをプログラムに入れるよう提案する場合、いつがその締切かという質問があり、近日中（5～6月）に行われるプログラム委員会で話をするか、あるいは、あらかじめ Christopher Dennison 先生の耳に入れておくとういだろうと回答がなされた。

(8) SJB2027 [中村 SJB2027 幹事]

7th Switzerland-Japan Workshop on Biomechanics

2027 年予定（候補 9 月 7～10 日）, Riederalp

実行委員長：Bert Muller, Masanori Nakamura

- ・記念賞（林先生, Meister 先生）の設定について協議予定
- ・上記開催候補日は機械学会年次大会の日程（例年 9 月第二週）と重なるかもしれないので調整中。

(9) 第 36 回バイオフィロントニア講演会 [藤崎 BF36 講演会委員長]

開催日：2025 年 12 月～2026 年 1 月

開催地：東北地区

実行委員長：藤崎 和弘（弘前大）

石川 部門長から開催地選定の経緯に関して、過去の履歴から次の開催地は東北地区ということで、弘前大の藤崎先生に打診をしてお引き受けいただいた旨の説明があった。藤崎 実行委員長より、今年 9 月期限の青森県コンベンション助成に申し込みを行う予定で、それまでに形を作っていくという説明があった。

(10) AP Biomech Conference [石川 部門長]

AP Biomech 2025 の開催地は Auckland, NZ（11 月頃予定）

AP Biomech 2027 の開催地は Bali, Indonesia

(11) LIFE2024 [藏田 部門幹事]

開催日：2024 年 9 月 12 日（木）～14 日（土）

開催地：東京大学 本郷キャンパス

大会長：佐久間 一郎（東京大学・ライフサポート学会）

正宗 賢（東京女子医科大学・日本生活支援工学会）

高橋 正樹（慶應義塾大学・日本機械学会）

主担当学会：ライフサポート学会

（第 39 回ライフサポート学会大会、第 23 回日本生活支援工学会大会、日本機械学会福祉工学シンポジウム 2024、の 3 学会の合同大会）

演題申込み締め切り：2024 年 6 月 14 日（金）

<http://www.taikai2024.jslst.org/index.html>

今年度は日本生体医工学会 生体医工学シンポジウム 2024 が同会期に併催され、行き来できることが説明された。

実質的な運営はすべて主担当学会であるライフサポート学会によって行われる。なお、機械学会内では、「機械力学・計測制御部門」「機素潤滑設計部門」「バイオエンジニアリング部

門」「ロボティクス・メカトロニクス部門」で輪番対応しており、2024年度は「機械力学・計測制御部門」の担当である。そのため、バイオ部門からの実行委員メンバーはいない。

(12) その他

なし

3. 共催・協賛・後援行事

(1) ROBOMECH2024 [中西 101 期部門長]

開催日：2024年5月29日（水）-6月1日（土）

開催地：ライトキューブ宇都宮（宇都宮駅東口交流拠点施設）

連絡先：実行委員長・宇都宮大学 尾崎功一先生

(2) 2024 SB3C [藏田 部門幹事]

2024 Summer Biomechanics, Bioengineering, and Biotransport Conference (SB3C)

"Innovation without Borders: Uniting Ideas, Technologies, and Communities"

開催日：June 11-14, 2024

開催地：Grand Geneva Resort, Lake Geneva, Wisconsin

URL: <https://sb3c.org/overview/>

(3) 第15回最適化シンポジウム [東藤 総務委員長]

開催日：2024年10月26日（土）、27日（日）

開催地：北海道大学

実行委員長：東藤 正浩（北大）

2年おきに4部門で担当する、BE部門としては実質8年おきに担当。

(4) ICAM 2024 [藏田 部門幹事]

The 8th International Conference on Advanced Mechatronics (ICAM 2024・第8回先端メカトロニクス国際会議)

開催日：2024年11月6日（水）-8日（金）

開催地：北九州国際会議場

まだホームページで情報を確認できていない。

(5) ROBOMECH2025 [藏田 部門幹事]

開催日：2025年6月11日（水）-6月14日（土）

開催地：山形市総合スポーツセンター

連絡先：実行委員長・??

(6) その他

なし

[報告事項]

1. 部門運営関係

(1) 2023年度部門収支決算書 [石川 部門長]

[資料 102-1-05]

収支決算について報告がなされた。前年度からの繰越金は21,662,360円。次年度への繰越金は24,687,136円なので、約300万円の黒字。部門特定事業資金積立金では、前年度から320万円の繰越金があり、次年度への繰越金は120万円なので200万円の赤字。これらを合わせて、全体として約100万円の黒字で運営できていることが説明された。

(2) 日本機械学会賞等推薦について [藏田 部門幹事]

日本機械学会賞(論文, 技術, 技術功績), 日本機械学会奨励賞(研究, 技術), 日本機械学会教育賞, 日本機械学会優秀製品賞, 日本機械学会標準事業表彰の各賞の公募について, 2023年度は6月1日依頼, 8月7日(月)提出締め切りだった。今年度も同様のスケジュールと思われる。部門推薦について Information Mail で案内があるので, 自薦他薦を問わず, 奮って応募していただきたい旨, 説明がなされた。なお, 部門の締切は JSME の締切の約1か月前で, 7月上旬の予定。提出先は中村 副部門長。

(3) ISO・JIS・学会基準委員会 学会基準テーマの募集 [石川 部門長・葭仲 委員] [資料 102-1-06]

今年度の締切は8月2日(金)であることが説明された。

(4) ISO・JIS・学会基準委員会より報告 [葭仲 委員] [資料 102-1-07]

第3回 ISO・JIS・学会基準委員会が2月22日(木)に開催された。主な議事は下の通り。

●令和6年度経済産業省産業標準化事業表彰推薦者候補について(資料No.7)

ISO・JIS・学会基準委員会委員各位に推薦を依頼し, 井上副委員長よりご推薦を頂いた候補(榊田 均 様)に関わる資料を確認し, 推薦を進めることとした。募集時期は例年5月となっているため, 井上副委員長に関係書類の作成をお願いし, 準備をする。また, 経済産業省産業標準化事業表彰は, 毎年行われるため, 推薦候補をストックしておくことが重要となるため, 本フォーマットにて推薦のご協力を頂きたい旨の要請がされた。

●2024年度(第102期)ISO・JIS・学会基準委員会委員について(資料No.14)

資料記載の委員就任年が前身の標準事業委員会からのものとなっているが, 2022年に改組があり, 本委員会の設置が2年目となり大半の構成員が2年の任期を迎えるため, 規定では6年まで継続することができるとしていることから, 委員会の継続のためにも委員継続をご検討頂き, 部門等でもその旨ご報告いただきたい旨の依頼がされた。全員が1年継続した場合, 来年全員が抜けてしまうこともあるのではないかとの意見もあり, まずは継続のアンケートを取り, 結果を確認してから改めて対応を検討することとした。

●受託事業成果報告, 年次大会特別行事企画, ISO 次年度受託申請など

年次大会の特別企画に関しては3/29が応募締切となっており, 各TC等で提案があれば, 本委員会としてはこれを拒むことなく後押しをすることとした。

●今回が今期最後の委員会となるため, 山本委員長より委員各位への感謝の意が表された。

(5) 2024年度 JIS 原案作成公募 区分 C 募集 [石川 部門長・葭仲 委員] [資料 102-1-08]

ISO・JIS・学会基準委員会からの案内が, 葭仲先生→部門3役→佐藤広報委員長の順に連絡され, Information Mail により4月15日(月)にメール配信された。

「2024年度 JIS 原案作成公募 区分 C 募集中のお知らせ」

応募締切: 2024年5月17日(金)

(6) 2024年度(第21回)日本機械学会標準事業表彰の推薦について [石川 部門長・葭仲 委員]

ISO や JIS 等の標準化活動に貢献した方を表彰する賞。

(2) で説明された日本機械学会標準事業表彰の候補として, 村瀬 晃平 先生(大阪大)を推薦する予定であることが説明された。

(7) 令和6年度文部科学大臣表彰「若手科学者賞」候補推薦の結果 [石川 部門長]

昨年度部門より推薦した奥田 覚 先生(金沢大)が, 2024年度の同賞を受賞された。

(8) 令和7年度文部科学大臣表彰「若手科学者賞」候補推薦 [中村 副部門長] [資料 102-1-09]

Information Mail により4月5日(金)にメール配信。4月21日(日)締切。

応募者1名により, 大谷 智仁 先生(大阪大学・准教授)を日本機械学会表彰部会に推薦した。

なお、案内から締切までの期間が短く、応募者が少ない。また、他学会や大学からのルートで推薦されることもある。部門から候補を推薦できるように、応募を促すための方法などについて意見交換がなされた。

(9) **機械工学年鑑 2024** [藏田 部門幹事] [資料 102-1-10]

4月15日(月) 原稿提出締め切り。出口・前部門幹事が取りまとめて提出済み。

(10) **2025 年度設置「RC 分科会」研究テーマ募集について** [資料 102-1-11]

今年度は5月9日にJSME 研究協力事業委員会から案内があり、8月2日(金)が応募期限である。5月11日(土)にInformation Mailで配信された。

(11) **その他**

なし

2. 部門関連行事

(1) **講習会関係** [藏田 部門幹事]

(i) 筋骨格モデルによるバイオメカニクス解析入門 (倉元 委員)

昨年は6月頃から打ち合わせを始め、2023年11月30日～12月1日に開催された旨、倉元委員より報告があった。今年度の開催について詳細は未定だが、時期は近年同様、11月後半～12月となる見通し。

SHD 部門と隔年で当番をしており、バイオエンジニアリング部門は倉元委員をはじめ、坂本二郎先生、田原先生、茅原先生、SHD 部門は中島求先生などが中心であり、このメンバーで今年度も進めていく予定であることが説明された。

(2) **その他**

なし

3. 各種委員会等活動報告

(1) **企画委員会** [坂元 企画委員長]

BE 講演会、BF 講演会で企画をあげていくので協力して欲しい旨、要請があった。

(2) **総務委員会** [菅原 総務幹事]

明日の BE 講演会総会での表彰式、秋の副部門長選挙に協力して欲しい旨、要請があった。

(3) **広報委員会** [佐藤 広報委員長]

2024 年度ニュースレターの発行に向けて準備中 (9 月の年次大会に合わせて発行予定)。海外活動だよりの執筆依頼者に心当たりがある方は是非ご提案いただきたい。

(4) **渉外委員会** [須藤 渉外委員長]

・2024/4/23-25: KSME-JSME Joint Symposium

無事に参加・発表し、2025 年度の JSME-KSME Joint Symposium の開催についても議論したことが報告された。参加者は、牧功一郎先生 (京都大)、大谷智仁先生 (大阪大)、齊藤亜由子先生 (工学院大)。

分野連携企画の支援金 113,000 円を 3 名の航空券代に使用し、現地交通費 (1 人約 2 万円、BE 部門 2 名分) については渉外・企画委員会合算予算から支出する予定 (不足分の支出については前回承認済み)。

・2024/12/14-15: Biofrontier Symposium のスピーカーが凡そ確定した。

(Prof. Vivek N. Prakash, University of Miami: Marine Biophysics & Biofluids)

(5) 若手による次世代戦略委員会 [牧 次世代委員長]

新たな委員を選定した。 [資料 102-1-02]

2024年7月から出藍セミナーを開催する。 [資料 102-1-03, 04]

第35回バイオフィロンティア講演会で1on1のネットワーキングを重視した企画予定。

(6) JBSE 編集委員会 [石川 国際ジャーナル委員長]

明日のBE講演会総会でAwardsの表彰がある旨、説明がなされた。

[その他]

第102期運営委員会開催予定について [藏田 部門幹事]

第1回 幹事会 5月7日(火) Web会議

運営委員会 5月10日(金) 15:00~17:00 名古屋工業大学 (BE36 前日)

第2回 幹事会 9月X日(X) Web会議

運営委員会 9月8日(日) 12:30~14:30 愛媛大学 (年次大会)

第3回 幹事会 12月X日(X) Web会議

運営委員会 12月13日(金) 夕方 横浜国立大学 (BF35 前日)

第4回 第102期・103期合同拡大幹事会 3月X日(X) 場所未定

以上